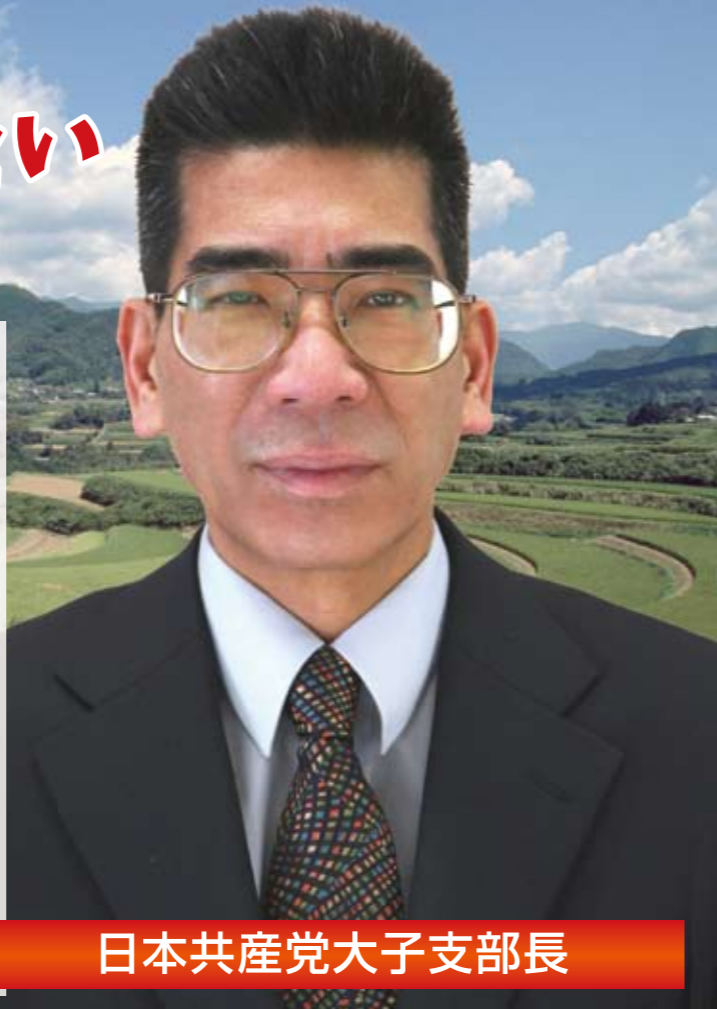


# 皆様と一緒に 考え歩みたい

大子一高を卒業してから神奈川で働いていました。高齢となった父母と一緒に暮らすために故郷に戻って八年、なつかしい人たちから様々なことを教えられました。

私は、若い人が安心して働き子育てできる町にしたい、お年寄りが安心して住みつけられる町にしたい、この気持ちでいっぱいです。町民の皆様と一緒に考え歩みたいと思います。

しば議員の経験をしっかり受け継いで全力でがんばります。



日本共産党大子支部長

まさひろ

## 佐藤正弘

[53歳]

- 略歴**
- 大子町中郷生まれ(53歳)。大子一高卒業後、森山捺染厚木工場に勤務。●神奈川県労働組合総連合事務局次長、日本国民救援会神奈川県本部副会長、坂本弁護士と家族をさがす会事務局長などを歴任●現在、党大子支部長
  - 家族は母。中郷在住。 ☎(77)0352

### 息子をたのみます



母・佐藤イエ  
(中郷)

息子は町のために働きたいと言っています。

私は目が悪く何にもできず、いつも申し訳なく思っています。よろしくたのみます。

# 信念つらぬく 心やさしい佐藤さんに

## 私に倍するご支援を

町議会議員として十期、長い間のご支援に心から感謝申し上げます。私は「町民が主人公」を信条に、皆様からよせられた声を町政に届けてまいりました。

誰もが安心して住みつけられる大子町をつくる仕事を、今度は佐藤正弘さんに引き継がせてください。私も健康をとりもどしながら力のかぎりがんばります。

## なくてはならない 日本共産党の1議席

いま多くの方が、毎日の暮らしと町の将来を心配しています。この間、国保税や住民税が引上げられました。私は「増税ヤメロ」と強く主張してきました。

町の仕事は「住民の福祉の増進」(地方自治法第1条の2)です。この立場にしっかり立って、暮らし・福祉を守り、町の振興に取り組む共産党の1議席をなくすことはできません。信念を通す心のやさしい佐藤さんに、私に倍するご支援をお願い申し上げます。

しば  
清  
町議会議員



◀街かど美術館の前でしば議員と固く握手する佐藤さん

## 議会に出たら 3つの役割はたします

- 町民こそ主人公の精神を受け継ぎ、町政のムダ使いのチェックにがんばります。
- 困りごと相談や地域に役立つために力いっぱい働きます。
- みんなの願いをよく聞き、議会ですっかり発言します。

佐藤正弘

大子タイムリー

日本共産党の見解を紹介します。

2008年2月 号外 発行/日本共産党大子町委員会 大子町大子642-2

連絡先 TEL・FAX 0295(72)3615

# 人情、自然ゆたかな大子町

くらしと地域を守るために  
しば清議員の後を継いでがんばりたい



**佐藤正弘**  
日本共産党大子支部長

私は、長く神奈川で暮らしていましたが、大子町の厚い人情とゆたかな自然を忘れたことはありません。故郷にもどって「これが俺の町だ、この町に生きる」と心に刻みました。しば清議員の後をついで大子町のためにがんばります。

## 命の尊さを噛みしめた 「オウム事件」

十九年前オウム事件が世間を震撼させたとき、佐藤さんは「元坂本弁護士と家族をさがす会」事務局長として上九一色村や新潟の山奥まで探し回りました。坂本弁護士と家族は殺されていきました。こんな事件は二度と繰り返してはいけな

## 大子に帰ってから、働く人のために

昨年三月、町の縫製工場で働いていたベトナム人女性実習生らの未払い賃金と人権侵害が大問題になりました。佐藤さんはベトナムの人たちに食料を差し入れ記者会見に立ち会うなどして救済に奔走しました。

長く労働運動にかかわってきた佐藤さんは、働く人の生活と権利を守るために、いつも一生懸命です。

## 町民のくらしの応援団に

大子二高で野球応援団をした佐藤さんは、その後も人権問題や平和運動などの事務局・応援団役をつづけました。集まりがあれば早く行って部屋を暖め準備し、終わった後片付け……。様々な人の支え役として働いてきた佐藤さんは、人の痛みがわかり親身になってつくす人です。これからは町民のくらしの応援団として働きます。



上九一色村で竹内清一氏と話す佐藤さん。NHKの取材を受けました。



## 佐藤正弘さんにぜひ、ご支援を

### 高齢者に温かい町づくりを



**武石絹枝**  
(池田)

地元にもどって、親の面倒をみているやさしい人です。

しば議員のように、高齢者に温かい町づくりのためがんばってくださいと思います。

### 困っている人に、とことんつくす



**大森正喜**  
(下野宮)

働く人たちの利益を守って活動してきた経験を活かし、町民の身近な相談相手として、立派に働ける人です。

皆様のご支援をお願いいたします。

## みなさんと力を合わせ、実現めざします

- 国民健康保険税、介護保険料・利用料の軽減
- 中学校卒業まで医療費無料化
- 小学校区ごとに学童保育の整備
- 清流高校に学校食堂を
- 若者向け町営住宅の増設
- 産業廃棄物処理場計画化(佐原地区)の中止
- 後期高齢者医療制度の中止・撤回



このように佐藤さんは、いつでも人の「いのち」と、「くらし」「人権」を守るために、信念をもってねばり強く行動してきました。

八年前に、年老いた父母の面倒をみるために故郷にもどってきました。今、目の不自由な母親にかわって家事一切をおこなうなど、心のやさしい人です。

今度は、しば議員の後を引き継ぎ、町民のくらしを守るために、力いっぱいがんばる決意をあらたにしています。

佐藤正弘さんは、中郷に生まれ、地元の大子二高を卒業して、神奈川県森山捺染厚木工場に就職しました。

そこで、労働組合結成に参加。職場の労働条件を改善してきました。その後、神奈川県労働連の専従役員となり、働く人たちの相談相手として、全県を飛び回りました。その頃おきた坂本弁護士一家殺害事件の真相究明にも奔走しました。



人のうら方、支え役から  
町民のくらしを守る  
先頭に



## 佐藤正弘さんの歩み